

教えるから 共に学ぶへ ⑯ - |

R 7.11.21 (金)

R7.11.18 (火) の3年生道徳の

授業レポート

今治市立菊間中学校

森田 章夫

菊間中学校では、グランドデザインに示したように「学び合い」「聴き合い」「探究的な学習」をキーワードに授業改善を進めています。その第14弾として、森田が3年1組で研究授業をしましたので、その様子をお知らせします。今回の研究授業は今治市・上島町教科等研究大会も兼ねていたため、今治市・上島町から多くの先生方にも参観していただきました。いつもと違う雰囲気で生徒たちも緊張の色が隠せない様子でした。

B課題；学力の基盤(base)となる課題

A課題；探究活動(advanced)を導く課題

〈授業の流れ〉

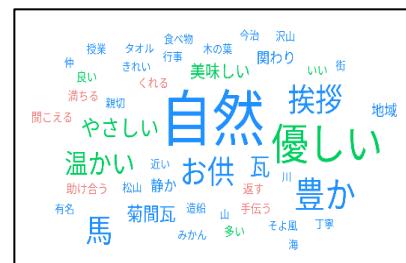
目標 『地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする心情を育てる。』

1 Jリーグが「ホームタウン活動」する上で、大切にしていることについて考える (B課題)

- Jリーグの様々なチームが行っている、ホームタウン活動の目的について考える。また、今治市のJリーグチームである『FC今治』についても触れる。

まず、郷土（菊間）についてのアンケートを見て、郷土愛について認識を深めました。教材には、世代を超えた地域のつながりを大切にするクラブや、選手自らが農業に携わることで地域に貢献するクラブ、試合がない日にスタジアムを開放することで地域とつながるクラブなど、さまざまなクラブの活動を通して郷土について考えました。また、自分たちの住む今治市で活動するFC今治の取組を知りました。地域住民の視点からも考えることで、多面的・多角的に考えました。

生徒は、Jリーグが行っている活動を知ることはできましたが、身近に感じたことはないようでした。しかし、FC今治の活動が知らないうちに自分たちと関わりを持っていたことに気付き、ホームタウン活動をより身近に感じることができました。また、活動内容だけでなく活動の目的や想いを知ることができました。



2 地域に住む人が今よりもっと笑顔になるために、今の私たちができることについて考える。

(A課題)

- 15歳の自分たちができることについて考える。(個人→班→全体)

Jリーグが行っているホームタウン活動は、新しいものや真似できないイベントではないことに気付かせました。自分たちが持っているノウハウを地域に伝えたり、地域にあるものを発信したりと、自分たちにできることを地域のためにやっているということを理解しました。そこで、地域に住む人が今よりもっと笑顔になるために、自分たちが地域にできることはないか考えました。また、やれることを想像するだけでなく、「何のためにそれを考えたのか。」「それをやれば地域がどう良くなるのか。」といった質問を互いに投げ掛けさせることで、物事の内面にまで着目させることができました。

生徒たちからは「地域行事に参加する。」「ボランティア活動に参加する。」「地域の情報発信をする。」「笑顔で挨拶する。」などの意見が出ており、今できることを素直に考えることができていました。また、周囲の人を誘ったり、相手（地域住民）のことを考えたりする意見が多くありました。



3 10年後の私を考える（A課題）

- ・ FC今治コミュニティ動画を視聴し、10年後の自分にできることを想像する。

FC今治の活動動画を視聴し、実際にホームタウン活動の企画・運営を行っているスタッフの方の想いを知りました。動画の中には郷土の「風土」や「人柄」、「責任」や「誇り」など本授業のねらいに合った言葉があり、郷土を愛し、郷土の発展に努めている方の話を聞くことができました。最後に「10年後の自分が地域にできること」を想像しました。Jリーグが地域と共に成長していくように、生徒たちも知らないうちに地域に育てられ、地域の方々の想いをもらっているはずです。これから先も成長を続ける生徒たちが、いつかは自分が地域を育てる立場や、地域へ想いを与えられるような大人になってくれたらと思います。



参観した教師からは、「スタッフや選手はこの郷土（今治）とは縁のない人もいること。」「地域の中には無関心な人もいること。」「自分たちの行っている部活動等と照らし合わせる。」という発問を加えれば、もっと深まったという意見もいただきました。また、道徳だけでなく、学級活動や総合的な学習の時間でのキャリア教育などにも関わりを持たせながら行うことで、郷土について深く考えることができると感じました。

保護者の皆様へ

3年生にとって本格的に進路を考える時期となっております。これからはだんだんと郷土と自分の距離が離れていく時期でもあります。しかし、どこにいても心の中では、郷土（菊間）を愛するという気持ちを持ち続けておいてほしいと思います。郷土を愛する心を育み、地域社会の一員としての自覚を深めていってほしいと思います。ご家庭では、地域に住むかたがたが笑顔になるために何かできることはいか、お子さんと話していただきたいと思います。そこで話したこと、ご自身でお考えになったこと、または、このような授業の題材におすすめの本や文章の提案でも何でも構ないので、ぜひ、以下の感想用紙にご意見をいただければと思います。今後とも、菊間中学校の授業改善へのご協力をよろしくお願いいたします。

切り取り線

「教えるから共に学ぶへ⑭ - 1」への感想文
